

## 豊島区における将来推計について

豊島区環境基本計画の最終年である2018年度における区の将来推計を、現状趨勢ケース（追加的な対策が何も行われないと仮定した場合のケース）、目標達成に向けて取組みを強化したケースに分けて分析を行う。

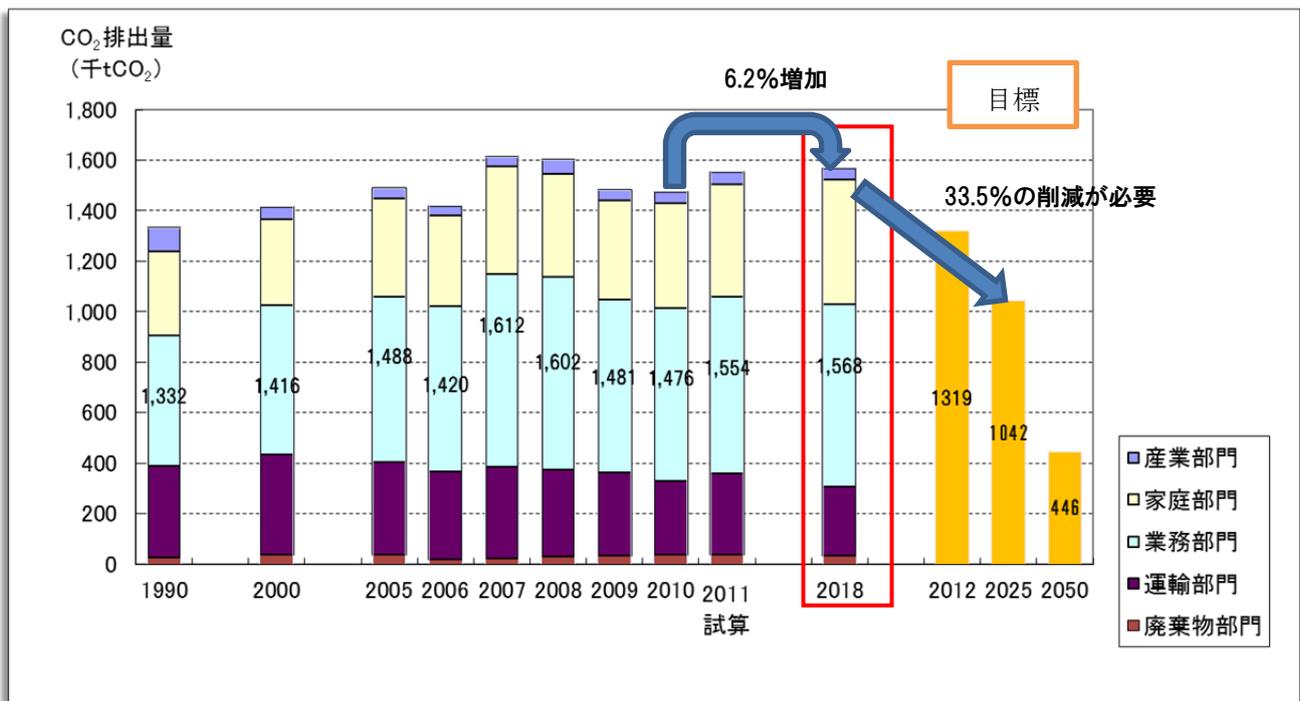
**中期目標（2025年度）** → CO<sub>2</sub>を2005年度比30%以上の削減を目指す。

## 1. 現状趨勢ケース

(1) CO<sub>2</sub>排出量

区の2018年度のCO<sub>2</sub>排出量は1,568千トンで、2010年度と比較して6.2%程度の増加が見込まれる。

2025年度と比較した場合は、33.5%（526千トン）の削減が必要となる。

2018年度の現状趨勢ケースのCO<sub>2</sub>排出量

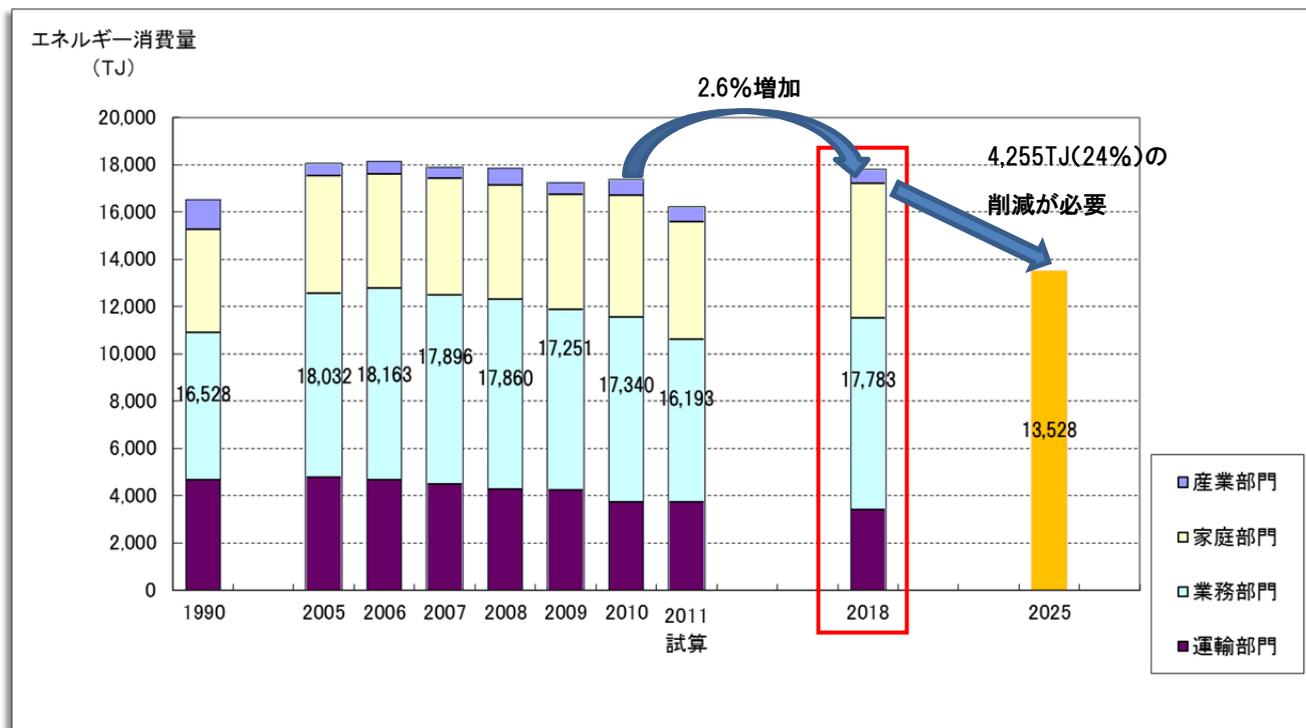
部門	1990年度	2005年度	2010年度	2011年度 試算	2018年度 【現状趨勢】
	千tCO <sub>2</sub>				
産業部門計	95	40	47	48	45
家庭部門	332	389	414	447	493
業務部門	515	653	683	700	722
運輸部門計	362	366	292	318	273
廃棄物部門	28	40	40	40	35
合計	1,332	1,488	1,476	1,554	1,568

## (2) エネルギー消費量

エネルギー消費量は17,783TJで、2010年度と比較して2.6%程度の増加が見込まれる。

2025年度のCO<sub>2</sub>削減目標「2005年度比30%削減」に相当するエネルギー消費量は13,528TJ（2005年度比約25%削減）※となり、2025年度までに4,255TJ（2018年度比約24%）の削減が必要となる。

2018年度の現状趨勢ケースのエネルギー消費量



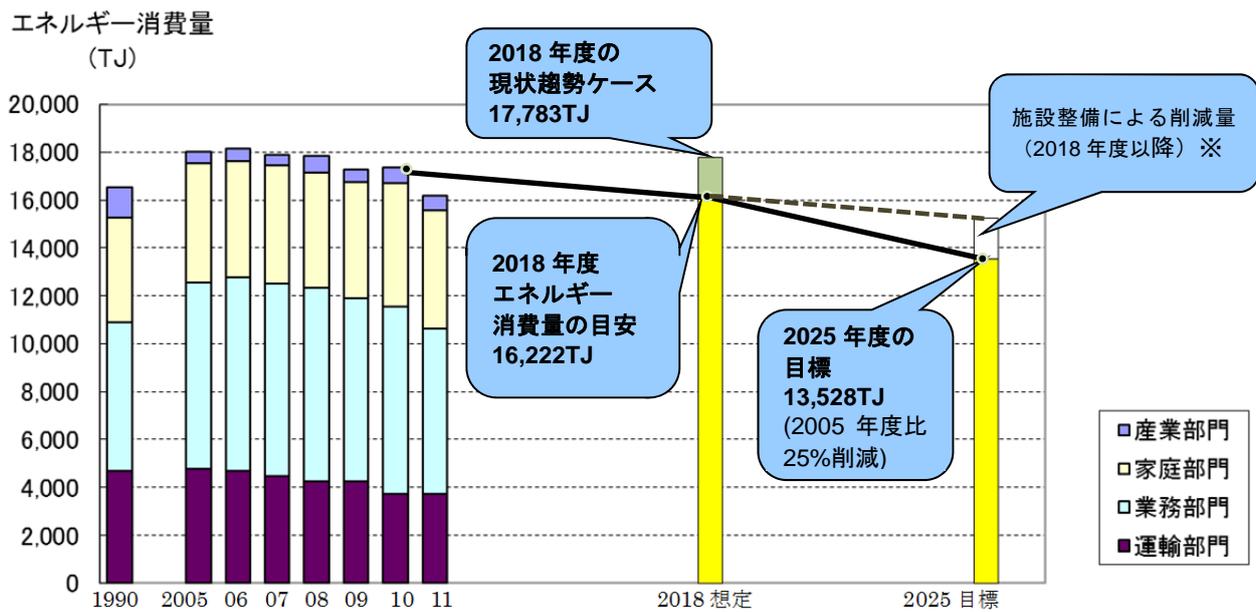
部門	1990年度	2005年度	2010年度	2011年度 試算	2018年度 【現状趨勢】
	TJ	TJ	TJ	TJ	TJ
産業部門計	1,266	516	625	607	574
家庭部門	4,376	4,972	5,180	4,961	5,698
業務部門	6,205	7,757	7,806	6,893	8,097
運輸部門計	4,682	4,786	3,729	3,732	3,414
合計	16,528	18,032	17,340	16,193	17,783

※ CO<sub>2</sub>削減目標の達成に向け、想定していたエネルギー供給側の努力（排出係数の改善）、CO<sub>2</sub>クレジット購入等、区外の削減量については、エネルギー消費量の削減とは関連がないため、この削減分（約5%）を差し引いた25%をエネルギー消費削減量の目安とする。

## 2. 中期目標達成に向けた環境基本計画最終年度におけるエネルギー消費量

削減目標であるCO<sub>2</sub>排出量は、排出係数の変動に大きく左右されるため、今後の対策の効果や、区民や事業所等の省エネ努力が数値として表れない可能性が高い。そこで、中期目標に向けて取組みを強化した場合の将来推計については、エネルギー消費量をベースに想定する。

### エネルギー消費量の2018年度の目安



※施設整備による削減量は、地域冷暖房供給エリアの拡大や豊島清掃工場廃熱利用、新公共交通システムの導入等の長期的対策を見込んだ数値である。

この場合、2025年度の目標に相当するエネルギー消費量は13,528TJであり、2018年度のエネルギー消費量の目安は16,222TJになる。

推計の結果、中期目標達成に向けた環境基本計画最終年度（2018 年度）におけるエネルギー消費量の目安は、16,222TJ となった。これは、2010 年度のエネルギー消費量 17,340TJ の 約 6%削減に相当する。

また、2011 年度のエネルギー消費量と比べると、ほぼ同等もしくは若干緩やかな数値である。

2011 年度の結果は、震災の影響による厳しい電力需給の下、多くの区民や事業者の努力により達成されたものである。一部、緊急的かつ負担の大きい取組みもあったが、決して実現不可能な数値でないということがわかる。

